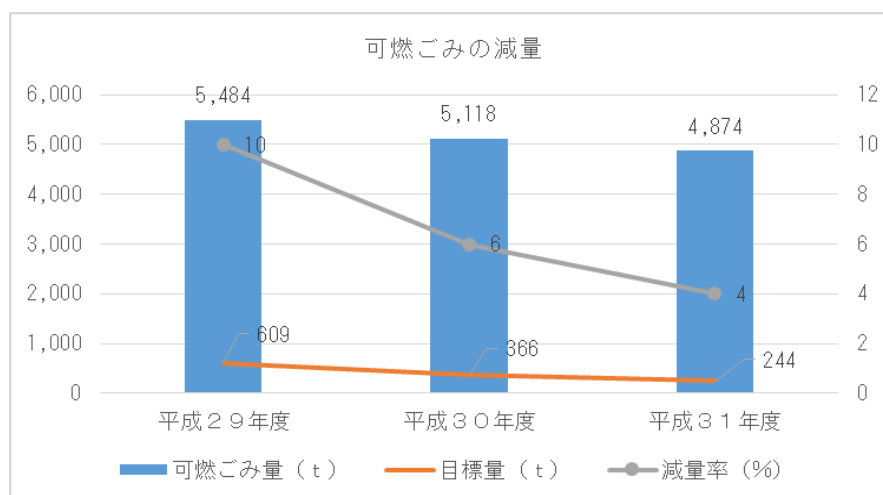


「川島町可燃ごみ20%減量化計画」の進捗状況について

1 計画の概要

川島町は、平成26年度の町民1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ+事業系ごみ+集団回収量)が、埼玉県内ワースト3位(1,101グラム)となっています。また、吉見町を管理者とする2市6町1村で構成する埼玉中部資源循環組合(平成27年12月に加入)では、平成34年度を目標に、新たな可燃ごみ処理施設を建設することとしています。新施設稼働後は、搬入量が負担金の根拠となるため、本町から搬入される可燃ごみを早急に削減する必要があることから、平成29年6月に、庁内職員による「川島町可燃ごみ20%削減事業庁内推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、「可燃ごみ20%減量化計画」を策定し、平成31年度末までに、可燃ごみの焼却量を基準年度(平成28年度)から20%削減するという目標を掲げました。

平成28年度にごみ処理施設の焼却棟に搬入した可燃ごみ等6,841tのうち、し尿処理施設からの脱水汚泥233tと坂戸市からの可燃ごみ受託分515tを除いた6,093tを基準量とし、計画最終年度の2019年度(平成31年度)までに1,219tを削減することとし、年次ごとに次のとおり目標量を定めました。



2 これまでの主な取組

○可燃ごみ20%削減事業

- ・川島町可燃ごみ20%減量化計画策定(平成30年3月)
- ・広報かわじまでの定期掲載(平成29年10月1日号～現在)
- ・かわじまんごみ検定クイズ(広報かわじま平成29年10月1日号)
- ・川島町ごみ3キリ(水キリ、食べキリ、使いキリ)すっきりキャンペーン(平成29年10月～平成30年3月)
啓発チラシ、ポスターの作成・配布。町イベントでの水切りネット配布。
- ・田園戦士かわじまんをごみすっきり応援団に任命(平成29年12月)
- ・啓発横断幕、懸垂幕の作成、掲示(平成30年1月～3月)
- ・ポケットティッシュ作成し町役場窓口にて配布。
- ・職員3マイ(マイバッグ、マイボトル、マイ箸)運動の推進(平成29年11月～)
- ・ごみ減量化地区説明会の全地区(集会施設単位)開催、8/12現在、36会場1,147人参加。
- ・廃棄文書溶解処理(平成30年3月、6月)
- ・シュレッダー代行サービス開始(平成30年7月～)
- ・ごみ減量化ポスター・標語募集(小・中学生対象)
- ・「1515(いちご・いちご)運動」三角柱スタンド作成
- ・ごみ減量化職場推進員(4R)制度
- ・搬入収集車両のごみ展開検査(事業系ごみ)
- ・工場・店舗への立入検査(事業系ごみ)

3 減量化の実績

- ・平成29年度は346トンの減量、平成28年度対比 5.7%
- ・平成30年度は4月～7月では329トンの減量、平成28年度対比 5.4%(年度末には目標達成ペース)

4 今後の取組予定

- ・ごみ減量化シンポジウム2018の開催(平成30年10月27日)
- ・ごみ減量化PR動画作成
- ・クリーンサポーターの設置